

## 平成21年茨城県内各港の港勢（速報）

はじめに

「港湾調査」は、統計法（昭和22年3月26日法律第18号）に基づく港湾調査規則（昭和26年3月10日運輸省令第13号）により、調査対象港湾で取り扱われる貨物量につき、各月及び各年を調査期間として行われるものです。

今回の発表数値は、平成21年1月から12月までを調査期間とし、県内の重要港湾[鹿島港、茨城港（日立港区、大洗港区、常陸那珂港区）]について港湾課において取りまとめたものです。

なお、この数値は速報値であり、数字の単位未満は四捨五入しているため、合計の数字と内訳の数字が一致しない場合があります。

各港の取扱貨物量

### 1 重要港湾[鹿島港、茨城港（日立港区、大洗港区、常陸那珂港区）]計

総取扱貨物量	78,795千トン	外  貿	39,165千トン
		(輸出	3,966千ト  輸入 35,199千ト)
		内  貿	39,630千トン
		(移出	22,999千ト  移入 16,631千ト)
内公共埠頭分	23,117千トン	外  貿	1,716千トン
		(輸出	300千ト  輸入 1,416千ト)
		内  貿	21,400千トン
		(移出	10,726千ト  移入 10,674千ト)

平成21年における県内重要港湾の総取扱貨物量は78,795千トンで、前年より10,695千トンの減となった。外貿が39,165千トンで前年より7,075千トンの減、内貿が39,630千トンで前年より3,620千トンの減であった。

外貿について輸出入別にみると、輸出が3,966千トンで前年より695千トンの減、輸入が、35,199千トンで前年より6,380千トンの減となった。

内貿について移出入別にみると、移出が22,999千トンで前年より1,799千トンの減、移入が16,631千トンで前年より1,820千トンの減となった。

公共埠頭における取扱貨物量は、前年より2,065千トン減の23,117千トンとなっている。

公共埠頭における外貿は1,716千トンと前年より1,239千トンの減、内貿が21,400千トンで前年より827千トンの減となっている。

外貿について輸出入別にみると、輸出が300千トンで前年より269千トンの減、輸入が

1,416千トンで前年より970千トンの減であった。内貿について移出入別にみると、移出が10,726千トンで前年より252千トンの減、移入が10,674千トンで575千トンの減となった。

## 2 鹿島港

総取扱貨物量	55,401千トン	外 貿	36,329千トン
		(輸出	3,740千トン 輸入 32,590千トン)
		内 貿	19,071千トン
		(移出	12,681千トン 移入 6,390千トン)
うち公共埠頭分	2,079千トン	外 貿	1,115千トン
		(輸出	104千トン 輸入 1,011千トン)
		内 貿	964千トン
		(移出	483千トン 移入 482千トン)

平成21年の総取扱貨物量は、前年より9,612千トン減の55,401千トン(前年比85.2%)であり、このうち外貿貨物量は36,329千トンで前年より6,707千トンの減(前年比84.4%)、内貿貨物量は19,071千トンで前年より2,905千トンの減(前年比86.8%)であった。

外貿貨物のうち、輸出貨物量は前年より496千トン減の3,740千トン(前年比88.3%)で、主要取扱品種は鋼材、その他石油製品であった。輸入貨物量は前年より6,211千トン減の32,590千トン(前年比84.0%)で、主要取扱品種は鉄鉱石、石炭であった。

内貿貨物のうち、移出貨物量は、前年より1,422千トン減の12,681千トン(前年比89.9%)で、主要取扱品種は石油製品、鋼材であった。移入貨物量は前年より1,482千トン減の6,390千トン(前年比81.2%)で、主要取扱品種は重油、石灰石であった。

公共埠頭における取扱貨物量は、前年より775千トン減の2,079千トン(前年比72.9%)であり、このうち外貿貨物量は1,115千トンで前年より653千トンの減(前年比63.1%)、内貿貨物量は964千トンで前年より122千トンの減(前年比88.8%)であった。

外貿貨物のうち、輸出貨物量は前年より66千トン減の104千トン(前年比61.1%)で、主要取扱品種は鉄鋼、鋼材であった。輸入貨物量は前年より587千トン減の1,011千トン(前年比63.3%)で、主要取扱品種は動植物性製造飼肥料、非金属鉱物であった。

内貿貨物のうち 移出貨物量は前年より126千トン増の483千トン(前年比135.3%)

で、主要取扱品種は鉄鋼、鋼材であった。移入貨物量は前年より248千トン減の482千トン（前年比66.0%）で、主要取扱品種は砂利・砂、動植物性製造飼肥料であった。

### 3 茨城港（日立港区，大洗港区，常陸那珂港区）

総取扱貨物量	23,394千トン	外  貿	2,836千トン
		(輸出	227千トン  輸入 2,609千トン)
		内  貿	20,558千トン
		(移出	10,318千トン  移入 10,425千トン)
内公共埠頭分	21,037千トン	外  貿	601千トン
		(輸出	196千トン  輸入 405千トン)
		内  貿	20,436千トン
		(移出	10,244千トン  移入 10,192千トン)

平成21年における県内重要港湾の総取扱貨物量は23,394千トンで、前年より1,083千トンの減となった。外貿が2,836千トンで前年より368千トンの減、内貿が20,558千トンで前年より715千トンの減であった。

外貿について輸出入別にみると、輸出が227千トンで前年より199千トンの減、輸入が2,609千トンで前年より169千トンの減となった。

内貿について移出入別にみると、移出が10,318千トンで前年より377千トンの減、移入が10,240千トンで前年より338千トンの減となった。

公共埠頭における取扱貨物量は、前年より1,290千トン減の21,037千トンとなっている。

公共埠頭における外貿は601千トンと前年より586千トンの減、内貿が20,436千トンで前年より704千トンの減となっている。

外貿について輸出入別にみると、輸出が196千トンで前年より203千トンの減、輸入が405千トンで前年より383千トンの減であった。内貿について移出入別にみると、移出が10,244千トンで前年より378千トンの減、移入が10,192千トンで327千トンの減となった。

### 3 - 1 茨城港日立港区

総取扱貨物量	5,186千トン	外  買	328千トン
		(輸出	57千トン  輸入 271千トン)
		内  買	4,858千トン
		(移出	2,433千トン  移入 2,425千トン)

平成21年の総取扱貨物量は、前年より790千トン減の5,186千トン(前年比86.8%)であり、このうち外買貨物量は328千トンで前年より312千トンの減(前年比51.3%)、内買貨物量は4,858千トンで前年より478千トンの減(前年比91.0%)であった。

外買貨物のうち、輸出貨物量は前年より14千トン減の57千トン(前年比80.8%)で、主要取扱品種は非鉄金属、金属くずであった。輸入貨物量は前年より298千トン減の271千トン(前年比47.6%)で、主要取扱品種は完成自動車、石炭であった。

内買貨物のうち、移出貨物量は前年より245千トン減の2,433千トン(前年比90.8%)で、主要取扱品種は完成自動車、金属くずであった。移入貨物量は前年より233千トン減の2,425千トン(前年比91.2%)で、主要取扱品種は石油製品、完成自動車であった。

### 3 - 2 茨城港大洗港区

総取扱貨物量	13,452千トン	内  買	13,452千トン
		(移出	6,898千トン  移入 6,554千トン)
内フェリー貨物量	13,435千トン	内  買	13,435千トン
		(移出	6,888千トン  移入 6,546千トン)

平成21年の総取扱貨物量は、前年より683千トン減の13,452千トン(前年比95.2%)であった。

内買貨物のうち、移出貨物量は前年より296千トン減の6,898千トン(前年比95.9%)、移入貨物量は前年より386千トン減の6,554千トン(前年比94.4%)であった。

総取扱貨物量の99.9%を占めるフェリー輸送貨物は、前年より681千トン減の13,435千トン(前年比95.2%)であった。

### 3 - 3 茨城港常陸那珂港区

総取扱貨物量	4,756千トン	外 貿	2,508千トン
		(輸出	169千トン 輸入 2,339千トン)
		内 貿	2,248千トン
		(移出	987千トン 移入 1,262千トン)
内コンテナ貨物量	113千トン	外 貿	80千トン
		(輸出	9千トン 輸入 72千トン)
		内 貿	32千トン
		(移出	7千トン 移入 26千トン)

平成21年の総取扱貨物量は、前年より390千トン増の4,756千トン(前年比108.9%)であり、このうち外貿貨物量は2,508千トンで前年より56千トン減(前年比97.8%)、内貿貨物量は2,248千トンで前年より446千トンの増(前年比124.8%)であった。

外貿貨物のうち、輸出貨物量は前年より185千トン減の169千トン(前年比47.7%)で、主要取扱品種は産業機械、完成自動車であった。輸入貨物量は前年より129千トン増の2,339千トン(前年比105.8%)で、主要取扱品種は石炭、非鉄金属であった。

内貿貨物のうち 移出貨物量は前年より165千トン増の987千トン(前年比120.1%)で、主要取扱品種は完成自動車、製造食品であった。移入貨物量は前年より281千トン増の1,262千トン(前年比128.7%)で、主要取扱品種は完成自動車、紙・パルプであった。

総取扱貨物量のうち、コンテナによる取扱貨物量は、前年より48千トン減の113千トン(前年比70.3%)であり、外貿コンテナが前年より20千トン減の80千トン(前年比79.8%)、内貿コンテナが前年より27千トン減の32千トン(前年比54.3%)である。

また、コンテナの取扱個数は18,980TEU(前年比75.2%)であった。

主なコンテナによる取扱品種は、輸出で非鉄金属、再利用資材、輸入で紙・パルプ、産業機械、移出で産業機械、紙・パルプ、移入で染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品、紙・パルプであった。